

AI時代の

半導体設計に迫る

⑥

設計ソリューションの新たな動きに焦点を当てる本連載。第6回はSEMIジャパン（東京都千代田区）を取り上げる。SEMIジャパンは半導体工業会として、標準化やイベントの開催を含む様々な活動を展開しているが、半導体設計

野においても積極的な情報発信や提言を行っている。今回、カスタマーサービス部のシニア・マネージャーである沢田信之氏に話を聞いた。

「製造・運用に関するガイドラインを策定するもの」で、一例としてウェハーサイズや搬送システムなどの規格化が挙げられる。イベントはビジネスマッチングの場である展示会の「SEMI CON」が代表的で、日本では毎年12月、東京ビッグサイトで「SEMICON Japan」を開催している。また、SEMIではテーマ別のウェビナーも企画

課題はシステムアーキテクト不足

半導体設計の教育環境整備に期待

いた。

——ご略歴を。

沢田 大学卒業後、半導体メーカーのサイリンクス（現AMD）を経て、2016

スタートアップの半導体デバイスや設計

環境含むエコシステムを国内大手電機メーカーに提案することを経験した。サイ

リンクスではマレーシア、インド、ドイツといった世界各国に支店を持つ国際的な半導体工業

き、日本支部のSEMIジャパンをはじめ、中国、台湾、韓国、シンガポール、

画しており、SEMIジャパンでは毎月開催している。

システム設計にフォーカスしたものだ。24年からSEMICON会場内でADI Sスペースを設置した。数々のEDAベンダーが出展し、来場者から注目を集めた。

そのための対策は、やはり教育が重要で、そのための啓蒙活動を幅広く行っている。一例としてカードゲーム「The



アカウントマネージャーとして、主にPGAや開発ツールのセールスを担当した。携帯電話の基地局や有線標準化は装置や材料の設計

おける活動内容を。沢田 設計およびパッケージング分野を担当している。それぞれADI S (Advanced Design Innovation Summit) / ADAC S (Advanced Packaging Summit)の活動を通じて痛感するのは、システムアーキテクトの不足

国内の半導体設計について思われることは。沢田 SEMIの活動を

そのための対策は、やはり教育が重要で、そのための啓蒙活動を幅広く行っている。一例としてカードゲーム「The

Game」を使ったイベントが挙げられる。The Gameは、日本IBMが開発した半導体教育プログラムで、最終システムを想定したうえで、IPコアを組み合わせて全体回路とするものだ。国内設計エンジニアや学生らに参加いただき、全体設計を実感できたという感想をいただいた。こうした取り組みのほか、SEMIイベントのセミナーや特別企画でも半導体設計に関する情報発信を定期的に行っている。

（聞き手・東哲也記者）

